

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は決算報告時に記載
(配付申請時は記載不要)

【様式1】

令和2年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

(校園コード)

※校園コードを入力してください。

学校名

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

1 配付額 円 → 決算額 円

2 配付上限額

学校配当		学級数		特別支援学級数		学級配当
<input type="text" value="350,000"/>	+	<input type="text" value="6学級"/>	+	<input type="text" value="4学級"/>	×	<input type="text" value="30,000"/>
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。						
配付上限額						
=	<input type="text" value="650,000"/>					

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

- 令和2年度末校内調査の教育アンケート項目「相手の気持ちを考えて行動できる」に肯定的に答える児童の割合を83%以上にする。
- 令和2年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

目標に対する達成状況(取組完了時)

「相手の気持ちを考えて行動できる」と答えた児童の割合は88.6%に達し、目標を5.6ポイント上回った。
令和2年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較した結果、6年は4教科中3教科で、5年は4教科中1教科で、4年は4教科中全ての教科で上回った。

達成

B

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

- ・人権教育の年間指導計画に基づいて、学校行事の中で人権教育活動を積極的に取り入れる。人権学習週間を設定し、全校挙げて人権教育に取り組む。人権学習(道徳、外国人教育、特別支援教育、平和教育など)を通して、互いの考えを交流し合い、命や人権の尊さについて考え良好な人間関係を目指そうとする集団を育成する。
- ・子どもの発達段階に応じてキャリア教育を推進し、各学年で文化的・体験的な学習を実施する。
- ・国語科の学習指導の成果を上げるため、学力向上の時間を設定し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

- 令和2年度末校内調査の教育アンケート項目「相手の気持ちを考えて行動できる」に肯定的に答える児童の割合を83%以上にする。
- 令和2年度の小学校学力経年調査の結果が、国語科・算数科の全観点のうち、50%以上の観点が大阪市の平均を上回るよう、本校での基礎学力の向上をめざした「矢田北タイム」などの取組を継続・発展させるとともに、読書や家庭学習に取り組む児童を増やす。

指標に対する達成状況(取組完了時)

「相手の気持ちを考えて行動できる」と答えた児童の割合は88.6%に達し、目標を5.6ポイント上回った。
経年調査において国語と算数の全24観点中、12観点において大阪市平均を上回った。
教育アンケートでの「予習や復習等、宿題以外の学習にも取り組んでいる」の項目について肯定的な回答が昨年度79.6%から今年度67.5%で12.1%減少した。「家ですすんで読書をしている」の項目について肯定的な回答は昨年度59.2%から今年度62.2%と3%向上した。

達成

B

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

--

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】				事務局使用欄		達成
【施策2 道徳心・社会性の育成】 人権教育の年間指導計画に基づいて、学校行事の中で人権教育活動を積極的に取り入れる。人権学習週間を設定し、全校挙げて人権教育に取り組む。人権学習（道徳、外国人教育、特別支援教育、平和教育など）を通して、互いの考えを交流し合い、命や人権の尊さについて考え良好な人間関係を目指すとする集団を育成する。						A
①予算内訳						
7-1	人権教育講師謝礼	@	4,300	×	12 時間	= 51,600 円
				合計		51,600 円
②決算内訳						
7-1	人権教育講師謝礼	@	4,300	×	11 時間	= 47,300 円
				合計		47,300 円
(2)取組内容【施策番号 施策名】				事務局使用欄		達成
【施策2 道徳心・社会性の育成】 子どもの発達段階に応じてキャリア教育を推進し、各学年で文化的・体験的な学習を実施する。						D
①予算内訳						
11-1	6年生キッザニア甲子園交通費	@	536	×	19 人	= 10,184 円
8-5	6年生キッザニア甲子園教職員交通費	@	1,068	×	1 人	= 1,068 円
8-5	6年生キッザニア甲子園教職員交通費	@	730	×	1 人	= 730 円
13-1	6年生キッザニア甲子園入場料	@	2,915	×	19 人	= 55,385 円
13-1	6年生キッザニア甲子園教職員入場料	@	1,815	×	1 人	= 1,815 円
7-1	5年生一泊移住看護師謝礼	@	12,000	×	2 日	= 24,000 円
8-5	5年生一泊移住に係る旅費（看護師分）	@	15,830	×	1 人	= 15,830 円
13-1	5年生ドーナツ作り体験料	@	600	×	29 人	= 17,400 円
11-1	5年生ダスキン・朝日新聞社見学交通費	@	300	×	29 人	= 8,700 円
8-5	5年生ダスキン・朝日新聞社見学教職員交通費	@	800	×	3 人	= 2,400 円
11-1	4年生大阪市立科学館交通費	@	224	×	29 人	= 6,496 円
13-1	4年生大阪市立科学館プラネタリウム見学科	@	240	×	29 人	= 6,960 円
13-1	4年生大阪市立科学館プラネタリウム付添職員見学科	@	240	×	1 人	= 240 円
8-5	4年生大阪市立科学館下見教職員交通費	@	1,090	×	3 人	= 3,270 円
11-1	3年生くらしの今昔館交通費	@	272	×	26 人	= 7,072 円
8-5	3年生くらしの今昔館体験教職員下見交通費	@	660	×	1 人	= 660 円
8-5	3年生くらしの今昔館教職員交通費	@	528	×	2 人	= 1,056 円
11-1	2年生乗車体験交通費	@	198	×	25 人	= 4,950 円
8-5	2年生乗車体験教職員下見交通費	@	420	×	1 人	= 420 円
8-5	2年生乗車体験教職員交通費	@	588	×	3 人	= 1,764 円
				合計		170,400 円
②決算内訳						
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた上記の体験学習は全て中止した。						
(3)取組内容【施策番号 施策名】				事務局使用欄		達成
【施策2 道徳心・社会性の育成】 各学年が体験活動を実施し、全校児童でも芸術活動を実施する。						B
①予算内訳						
12	演劇鑑賞委託料	198,000			合計	198,000 円
②決算内訳						
12	演劇鑑賞委託料	198,000			合計	198,000 円

(4)取組内容【施策番号 施策名】		事務局使用欄		達成 A
【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 朝の10分間の矢田北タイムを週一回設定し、火曜日に、漢字を正しく読み書きする力をつける漢字タイムを設定する。また、文章を読み取り、まとめる力を身につけるための国語タイム、4年生以上は2学期末の漢字検定に向けて、漢字タイムに年間を通して取り組む。				
①予算内訳				
11-4	漢字検定（4～6学年）（5～7級）受験料	@ 2,000 × 75 人	= 150,000 円	
合計			150,000 円	
②決算内訳				
1-4	漢字検定（4～6学年）（5～7級）受験料	@ 2,000 × 57 人	= 114,000 円	
	漢字検定（4～6学年）（8～10級）受験料	@ 1,500 × 16 人	= 24,000 円	
	事務連絡費、準会場実施経費として		-26,700 円	
合計			111,300 円	

(5)取組内容【施策番号 施策名】			事務局使用欄		達成 A
【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 ICTを活用した教育やプログラミング教育に取り組み児童の思考力・表現力を育てる。					
①予算内訳					
10-1	ロボットカー	@ 20,000 × 4 台 =	80,000	円	
合計			80,000	円	
②決算内訳					
10-1	ロボットカー	@ 22,550 × 4 台 =	90,200	円	
17-2	ユニット型電子黒板	@ 76,000 × 2 台 =	152,000	円	
合計			242,200	円	

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。
事務局使用欄は空欄としてください。